

令和8年度土木関係公共事業等箇所付けについて（当初予算分）

1 箇所付け方針

令和の公共インフラニューディール政策を推進するため、治水・海岸・土砂災害対策や、橋梁、トンネルなどの老朽化対策を前倒しで実施し、幹線道路や歩道、消雪施設の整備、港湾の機能強化など、物流と生活を支える社会資本の整備に努め、県土強靱化を進める。

2 今回の箇所数及び箇所付金額（事業費ベース）

合計 317箇所 22,659百万円

公共事業

（金額単位：百万円）

事業区分	今回箇所付分				箇所付金額
	新規箇所数	継続箇所数	合計	うち完了	
道路	7	114	121	6	10,990
河川・海岸	4	37	41		1,890
砂防	7	101	108	4	3,359
港湾・空港	2	21	23	2	1,439
都市計画		19	19	4	3,756
下水道		5	5		1,225
公共計	20	297	317	16	22,659

※「河川・海岸」：河川事業及び海岸事業 「港湾・空港」：港湾事業及び空港事業

3 代表箇所

番号	事業名	箇所名 (地区名)	主な事業内容	事業主体	新規区分	事業期間
1	道路橋りょう改築費	(一) 姫野能町線 (射水市作道～高岡市中曾根)	道路改良工事(バイパス)	県		H26～
2	道路総合交付金事業費	(国) 359号 (砺波市矢木～高道)	道路改良工事	県	○	R8～
3	道路総合交付金事業費	(主) 富山上市線 (富山市水橋開発～舟橋村国重)	道路改良工事	県	○	R8～
4	道路総合交付金事業費	(主) 黒部宇奈月線 (黒部市荻生)	道路改良工事	県	○	R8～
5	道路総合交付金事業費	(主) 魚津生地入善線 (魚津市東町～黒部市石田)	道路改良工事(バイパス)	県		R2～
6	河川改修費	鴨川 (魚津市新金屋外地内)	放水路工	県		H13～
7	砂防関係施設整備費	園(2)地区 (氷見市園)	急傾斜地崩壊防止施設整備	県		R6～
8	街路事業費	富山駅付近連続立体交差事業 (富山市明輪町～曙町)	富山地方鉄道本線の高架化等	県		H16～

このほかに、工期1年未満の債務負担行為（43箇所、2,705百万円）を設定している。

令和8年度土木関係公共事業等箇所付け（当初予算分）の代表箇所について

1 道路橋りょう改築費 一般県道^{ひめのうまち}姫野能町線（射水市^{つくりみち}作道～高岡市中^{なかそね}曾根）

- ・本路線は、並行する国道8号と併せて、富山市、射水市、高岡市を結ぶ道路ネットワークを形成するとともに、能越自動車道高岡北ICや北陸自動車道小杉ICへのアクセス道路となっており、国際拠点港湾伏木富山港の伏木地区と新湊地区の連絡を強化するなど、地域の活性化や県西部の経済・産業の発展に寄与する重要な幹線道路である。
- ・本路線と並行する国道8号や国道415号の庄川渡河部においては、通勤利用や伏木富山港への貨物輸送による慢性的な交通渋滞が発生していることから、これまでに、庄川の新設橋を含む区間（1期区間 2.0km）の整備を進めてきたところであり、本区間（2期区間）を整備することにより、渋滞の緩和はもとより、伏木富山港から能越自動車道高岡北IC、北陸自動車道小杉ICへのアクセスの強化による三大都市圏との物流ネットワークの向上など、さらなる物流の効率化に寄与するものである。
- ・令和8年度当初予算では、道路改良工事及び物件補償を行う。

2 道路総合交付金事業費 一般国道^{やぎ たかんどう}359号（砺波市^{やぎ}矢木～高道）

- ・本路線は、富山市を起点とし、砺波市、小矢部市を経由して石川県金沢市に至る幹線道路であり、沿線地域の発展や広域観光ネットワークの形成に重要な役割を担う路線である。
- ・本事業区間は、令和元年12月のバイパス全線開通以降交通量が増加しているが、暫定2車線区間であることから渋滞が頻繁に発生している。
- ・このため、4車線化整備を行い、安全で円滑な交通の確保を図るものである。
- ・令和8年度当初予算では、道路改良工事を行う。

3 道路総合交付金事業費 主要地方道^{とやまかみいち}富山上市線（富山市^{みずはしかいほつ}水橋開発～舟橋村^{くにしげ}国重）

- ・当路線は富山市と上市町を東西に結ぶ重要な幹線道路であり、広域的な物流や交流を促進する重要な区間でもある。
- ・本事業区間は、路肩幅員が狭く歩道も未設置のため、自転車及び歩行者が自動車と輻輳し危険な状態となっている。
- ・このため、道路の拡幅及び歩道の新設を行い、安全で円滑な交通の確保を図るものである。
- ・令和8年度当初予算では、用地買収及び物件補償を行う。

4 道路総合交付金事業費 主要地方道^{くろべうなづき}黒部宇奈月線（黒部市^{おぎゅう}荻生）

- ・本路線は、黒部市中心部と県内有数の観光地である宇奈月温泉などを結ぶ重要な幹線道路であり、北陸新幹線の黒部宇奈月温泉駅へのアクセス道路としての機能も果たしている。
- ・本事業区間は、観光地等へのアクセス道路として今後交通量の増加が見込まれている。また、^{おぎゅう}荻生小学校や^{めいほう}明峰中学校の通学路としても使用されているが、片側歩道のため児童・生徒の通学時には危険な状況となっている。
- ・このため、4車線化及び歩道整備を行い、安全で円滑な交通の確保を図るものである。
- ・令和8年度当初予算では、道路改良工事を行う。

5 道路総合交付金事業費 主要地方道魚津生地入善線（魚津市東町～黒部市石田）

- ・本事業は、魚津市東町地内から黒部市石田地内において、二級河川片貝川最下流に県道魚津生地入善線のバイパスを整備する事業であり、富山湾や立山連峰を眺望できる湾岸道路の一部となる区間である。
- ・現道は、幅員が狭く、人家が連坦し、歩道も整備されていないことから、安全で円滑な交通が確保されていない状況である。本事業により、現道交通がバイパス道路に転換されることで、沿道地域の交通安全の向上が図られる。
- ・令和8年度当初予算では、橋梁下部工工事に着手するとともに、引き続き用地買収及び物件補償を実施し、事業推進を図る。

6 河川改修費 二級河川鴨川水系鴨川（魚津市新金屋外地内）

- ・鴨川は、魚津市の市街地を流れ、富山湾に注ぐ延長3.9kmの二級河川である。本川は川幅が狭く、流下能力が小さいため、たびたび浸水被害が発生しており、その解消を図るため、放水路の整備を行っている。
- ・河口の魚津港への暫定放流口から上流に向けて整備を進めており、平成28年度には、あいの風とやま鉄道線までの区間が完成し、市の雨水幹線を3箇所接続するなど、事業効果を発現しながら、現在も上流に向け工事を進めている。
- ・令和8年度当初予算では、放水路工を実施する。

7 砂防関係施設整備費 園(2)地区(氷見市園)

- ・園(2)地区は氷見市の南東部に位置し、保全対象として人家7戸を含む最大がけ高22m、最大勾配35°の急傾斜地である。
- ・令和6年能登半島地震によって、一部斜面が崩壊し土砂の流出が確認された。今後、豪雨等によりさらに崩壊が拡大し、人家に被害が及ぶ恐れがあることから、急傾斜地崩壊対策事業により早急に対策を実施し、土砂災害から住民の生命・財産を守るべく待受式擁壁工の整備を行うものである。
- ・令和8年度当初予算では、待受式擁壁工の工事を実施する。

8 街路事業費 富山駅付近連続立体交差事業（富山市明輪町～曙町）

- ・富山駅周辺地区では、鉄道と交差する道路に交通渋滞が発生しており、また、鉄道による地区の分断で効率的な土地利用等に支障をきたしている。
- ・富山駅付近の在来線を高架化することにより、道路の新設や拡幅による渋滞の解消、駅南北の一体的なまちづくりを推進し、県都の玄関口にふさわしい魅力ある都市空間の創出を図るものである。
- ・平成31年3月に、あいの風とやま鉄道線全線の高架化が完成した。
- ・富山地方鉄道本線の高架化については、令和4年12月に仮線への切替が完了し、令和5年5月から高架橋工事に着手した。
- ・令和8年度当初予算では、富山地方鉄道本線高架橋工事の進捗を図るとともに、あいの風とやま鉄道線仮線撤去工事等を実施する。